

イベント情報

● 第3回くるりん講座

- 日時 8月28日(日) 9:30~11:00
- 場所 市庁舎4階大会議室 東
- 内容 「取材の仕方、分かりやすい記事の書き方」
- 講師 (株)市民タイムス 編集局長 高橋輪太郎さん
- 参加費 無料
- 主催 地域づくり課
- 問い合わせ 安曇野市市民活動サポートセンター TEL&FAX 0263-82-1922

● いいまちサロン3周年記念コンサート

- 日時 8月30日(火) 10:00~12:00
- 場所 明科公民館 講堂
- 内容 ソプラノ独唱
- 出演 ソプラノ:柳澤章子さん ピアノ:福嶋るみさん
- 参加費 300円(お茶・手作りクッキー付)
- 主催 明科いいまちつくろうかい!! 共催 明科公民館
- 問い合わせ 明科公民館 TEL 0263-62-4605

● 緑のカーテン広げようコンサート

- 日時 9月17日(土) 18:30~
- 場所 碌山公園 研成ホール
- 内容 弦楽四重奏、ソプラノ独唱
- 出演 音喜楽(おきらく)アンサンブル、ソプラノ:荻野香代さん、伴奏:市川美穂さん
- 入場料 1000円(フリードリンク付)
- 主催 NPO法人 あづみ野風土舎
- 問い合わせ 磯野 TEL 090-5437-4155

● 不用食器リサイクル

- 日時 9月25日(日) 9:00~11:30
- 場所 穂高プール駐車場
- 内容 不用食器の交換会
- 主催 不用食器リサイクル活動実行委員会
- 問い合わせ 実行委員長 桜井 TEL 0263-77-6070

ただいまボランティア
募集中
8月31日まで

活動レポートやイベント情報をお寄せください。本誌やホームページで広く広報いたします。
また、取材をご希望の場合も下記市民活動サポートセンターまでご一報下さい、市民活動サポート
が伺います。

安曇野市市民活動サポートセンター

開館時間 午前9時~午後5時
休館日 毎週日曜日
年未年始 12月29日~1月3日
住所 〒399-8303 安曇野市穂高 6658 番地
電話/FAX 0263-82-1922
E-mail azumino-sk@bz03.plala.or.jp
URL http://azumino-sk.net/



くるりん通信

8月号

No.008
2016.8.15

〒399-8303 安曇野市穂高 6658 番地 市民活動サポートセンター 安曇野市役所市民生活部地域づくり課 発行

市民活動サポートセンターに名称が変わりました

協働のまちづくり拠点「市民活動センター」は、その機能に合わせ平成28年4月に「市民活動サポートセンター」(愛称 くるりん広場)と改称し、穂高支所完成に伴い8月1日に2階から1階へ移動しました。



1階がすべて市民活動サポートセンターに

広く確保したフリースペースを様々な市民活動の打ち合わせなどに活用出来るほか、情報掲示コーナーを整備しました。

センターでは円滑な市民活動の推進を図るための講座の充実、あるいは団体運営や事業推進などの困りごと相談業務の強化を進め、市民活動サポートセンター登録団体の皆様や公益的な活動の推進している皆様を支援いたします。

市民活動サポーターが活動を始めました

センターには市民活動コーディネーターが常駐して市民と行政の協働のまちづくりを推進します。コーディネーターは3名が交替で勤務し、市民活動に関する相談業務、情報の発信、講座企画等を担当します。

また、新たに8名の方々が市民活動サポーターに就任しました。サポーターは市民活動サポートセンターの運営に関わるだけでなく、市民活動団体が行うイベントを取材します。早速本号に2件のレポートが報告されました。今後の活躍にご期待下さい。



コーディネーター 今泉一

コーディネーター 荻野香代

コーディネーター 田中吉弘

サポーター 磯野康子

サポーター 小野松雄

サポーター 川崎克之



サポーター 初谷大子



サポーター 林孝彦



サポーター 藤原綾子



サポーター 宗像章



サポーター 百瀬陽子

コーディネーター、サポーターは昨年度実施された協働コーディネーター養成講座を修了された方々です。

レポート

■ 明賀の歴史を探訪する里山ウォーキング

7/17 主催：「明科いいまちつくろうかい！！」 共催：明科公民館

この里山ウォーキングは、潮沢の山間部に散在する限界集落の一つであり今や廃集落となってしまった明賀を訪ねて、元住民の方に話を伺い、集落の歴史に想いを馳せながら同じような問題に直面しつつある他集落の今後に関心するというものです。今回を逃したら更に荒廃が進んで入山できなくなるかもしれないという危機感の中で開催されました。

明賀は旧東川手の北端、生坂村との境目にある、戦国時代にまで遡る歴史のある集落で、昭和30年代には

28軒を数えた養蚕の盛んな集落でした。しかし、時代の流れとともに人々は便利さを求めて山を下り、畑や桑畑には雑木が覆い茂って自然景観も変わり、かつては繁栄の象徴だった地蔵堂石造文化財、400年の歴史を誇る神社などは祀ることも困難になり、貴重な祭器類も盗難に遭うなど荒れ果ててしまいました。

参加された皆さんは、こうした明賀の宝ともいべき文化遺産を巡りながら、文化財を守り続け語り継ぐ大切さを感じられていたようです。参加者の中には40数年ぶりに実家を訪れたという方もおり、廃墟と化した住居や、庭で実を成らせているアケビの木に感慨深そうでした。

下山後は明科公民館においてトン汁やおにぎりなど地場の産物をふんだんに使った昼食のおもてなしに舌鼓を打ちました。

(*本イベントは平成28年度「つながりひろがる地域づくり事業補助金」の対象事業として実施されました。)
(川崎 記)

■ 安曇野とーくカフェ 天蚕（やまこ）

7/27 主催：安曇野案内人倶楽部 会場：安曇野案内人倶楽部カフェ



3回目の開催となるこの日は、「やまこの学校」で活躍中の古田春江さんを講師に迎え、安曇野で江戸時代から行われていた伝統産業である、天蚕飼育について話を聞きました。

会場には、天蚕（やまこ）の食草であるクヌギと繭になる直前の幼虫や繭、羽化した雌雄の成虫、繊維のダイヤモンドといわれている天蚕糸などが用意され、参加者は、実際に触れながら、天蚕の驚くべき生き抜く知恵を学び感銘を受けていました。

古田講師の深い知識と天蚕にかける情熱、「命をいただくのだから、全てを無駄にしない」などの、愛情あふれる語り口に魅了されたとーくカフェでした。

「安曇野とーくカフェ」では、安曇野案内人倶楽部のメンバーがナビゲーターとなり、それぞれの得意分野で参加者と交流しながら、楽しいトークを繰り広げています。

(磯野 記)

くるりん講座

第1回くるりん講座

—長野県政出前講座— 地方分権と市民の役割

6/18 市庁舎4階大会議室



長野県における地方分権の最新情報や施策について長野県政出前講座として県企画振興部総合政策課谷津勇人さんを講師に迎え開催しました。

地方分権とは国に集中している権限等を地方自治体に移したり、国から地方（県・市町村）に対する関与を廃止・縮小したりして、地域の特色を生かした地域づくりを進めるために行政の仕組みを変えていこうとする考え方です。

平成7年の「地方分権推進法」が施行されて以来現在では第4次地方分権一括法が成立し、平成26年「地方分権改革に関する提案募集制度」が導入されました。長野県からも提案し、実現した内容の説明がありました。また、改革を推進するに当たり住民自治の拡充が重要であるとの指摘もあり、その一環として自治基本条例の制定が各地で進んでおり、安曇野市での取り組みも紹介されました。

講演後の質疑応答では熱心な質問が幾つもあり、終了時間に合わせて質問を打ち切るほどでした。

講演後、参加者はグループに分かれて自己紹介や活動の紹介をして交流を深めました。



第2回くるりん講座

「ファンドレイジング～活動資金の集め方～」

7/23 市庁舎4階大会議室

NPOをはじめ市民活動団体は事業を継続するため財源を確保する必要があります。今回は、認定ファンドレイザーとして、ご活躍されている大塚佳織さん（特定非営利活動法人えんのわ）を講師にお招きして開催しました。

市民活動の財源としては「事業収入」、「補助金・助成金」、「寄付・会費」等に大別されますが、今回は「寄付」を中心にお話をいただきました。多くの人は何らかの形で社会に貢献したいと思っていること、お金によって支えたいという方々に寄付をお願いしてみてもどうか、寄付を頂いたら7回お礼をしましょうなどと説明がありました。

具体的な寄付の集め方、成功事例（上田市のスポーツクラブ）等大変参考になりました。参加者の中にはNPO法人を立ち上げたばかりの方々もおられホットで具体的な質問がありました。



講義後は、2グループに分かれ、ワークショップを行いました。グループ1は「この高齢社会の中で私たちができること」、グループ2は「協働により高齢化社会に立ち向かう」をテーマに意見を出しあい、短時間でしたがまとめをして、検討結果を発表しました。